

新規の分子遺伝学的特徴を持つ *Mycobacterium avium* subsp. *hominissuis* による豚抗酸菌症の集団発生

小松徹也^{1),2)†} 高村祐士¹⁾ 稲葉七巳²⁾ 渡戸英里¹⁾
杉江建之介¹⁾ 山本陽子³⁾

- 1) 愛知県中央家畜保健衛生所 (〒444-0805 岡崎市美合町地蔵野 1-306)
2) 愛知県東部家畜保健衛生所 (〒441-8113 豊橋市西幸町古並 51-1)
3) 愛知県畜産総合センター (〒444-0006 岡崎市丸山町字亀山 9-1)

(2021年8月6日受付・2022年3月10日受理・2022年4月15日公開)

要 約

愛知県内の1養豚場で、2018年3月より豚抗酸菌症による消化管廃棄率が上昇したため、腸間膜リンパ節と農場の環境材料を採取し、病理及び細菌検査を行った。その結果4頭のリンパ節に乾酪壊死が観察され、同部位から抗酸菌が分離された。単離された4株は同じ分子遺伝学的特徴を持ち、*Mycobacterium avium* 特異的PCR陽性、IS1245及びIS901陰性で、*hsp65* 遺伝子の配列比較から *M. avium* subsp. *hominissuis* (MAH) と同定された。本菌は既報と異なる *hsp65* 及び *rpoB* 遺伝子の配列を有していた。環境材料から同様の特徴を持つ菌は分離されなかった。豚での分布やヒト由来株との関連を調べるうえで、本分離株は既報と異なる分子遺伝学的特徴を持つ点で貴重である。

——キーワード：*hsp65*, IS1245, *Mycobacterium avium*.



本文はこちら

----- 日獣会誌 75, e56～e61 (2022)